

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コンプリオ第三事業所		
○保護者評価実施期間	利用者がいなかったため実施なし		
○保護者評価有効回答数			
○従業者評価実施期間	2024年12月2日 ～ 2024年12月13日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの最善の利益を考え、直接支援に関わっている職員が意見を出し合っている。	・放課後等デイサービス計画は、直接支援に関わっている職員で意見を出し合い、検討したうえで作成している。 ・それぞれの個別ファイルを、すぐに確認できる場所に置いてある。 ・月に2回ミーティングを行い、支援の方針や注意事項の確認をしている。	・普段とは異なる様子が見られた場合などは、小さな事でも職員間で伝え合い、意識を持って支援する。
2	こどもの安全を守るための対策を施している。	・発作やアレルギー、服薬など、こどもの状況の変化を把握するため、放課後等デイサービス計画の更新のタイミングでアンケートを行っている。変化があった場合は連絡帳や送迎時の引継ぎなどでも情報の共有に努めている。 ・怪我や事故などに適切に対応できるよう、社内研修の機会を設け実施している。	・他事業所のヒヤリハット・インシデントも確認共有し、起こり得る可能性がある事なども想定しておく。
3	こどもが過ごすのに適した環境づくりを行っている。	・支援後は毎回清掃、アルコール消毒を行っている。 ・次亜塩素酸ナトリウムにて、日々のモップ掛け、週に一回の食具清掃、月に1回の玩具・教材消毒を行っている。 ・破損した場所はできる限り早く修繕し、危ないと思われる場所は早めに補強や対策を取るようにしている。	・好きな物が決まっていて遊びの内容が固定化していることは多いが、少しでも興味や遊びの幅に広がりを持ってもらえるよう、無理強いせず新しい遊びにも参加を促していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全体としての家族に対しての支援プログラムが少ない。個別では面談など相談があれば行っている。	・家族が事業所に出向きやすい時間帯に開所していない。	・家族のニーズの確認。
2	地域や関係機関との交流機会が少ない。	・地域との交流機会の情報を把握できていない。 ・交流を望まないご家族もいる。	・家族のニーズの確認。 ・地域との交流機会の情報を把握し、情報提供を行う。 ・公園や買い物に出向くなど外出機会を増やす。
3	保護者間での交流機会が少ない。	・家族が事業所に出向きやすい時間帯に開所していない。 ・保護者も参加できるプログラムを実施していない。	・保護者のニーズの確認